

基本情報	
時間割コード/Course Code	306105
開講区分(開講学期)/Semester	春～夏学期
曜日・時間/Day and Period	水3
開講科目名/Course Name (Japanese)	日本語教育学実践論ⅠA
教室/Room	E103
開講科目名(英)/Course Name	Studies in Teaching Japanese as a Second Language IA
定員/Capacity	0
ナンバリング/Course Numbering Code	30JALC6BY01
必修・選択/Required/Optional	
単位数/Credits	2.0
年次/Student Year	1,2年
分野/Field	
担当教員/Instructor	真嶋 潤子

授業担当教員一覧

詳細情報	
講義題目/Course Name	日本語教育における複数言語習得研究の諸問題
開講言語/Language of the Course	日本語
授業形態/Type of Class	演習科目
授業の目的と概要/Course Objective	国内外で日本語教育に携わる予定の受講生が、高度専門職業人としてあるいは実践研究者として活躍するために必要な言語教育の方法論に関する専門性を高めつつ、優れた研究論文のあり方を考える。
学習目標/Learning Goals	今学期は、ポスト・コミュニカティブ・アプローチと呼ばれる現代の、日本語教育における諸課題を論じる。特にCEFRの受容についても論じる。
履修条件・受講条件/Requirement / Prerequisite	日本語と英語の文献が読めること。日本語教育学の基礎知識があること。 以下の文献をはじめ、日本語教育学関係の専門書をなるべく多く読んでおくこと。 大関浩美(2010)『日本語を教えるための第二言語習得論入門』くろしお出版 迫田久美子(2002)『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク 小柳かおる(2004)『日本語教師のための新しい言語習得概論』スリーエーネットワーク 中島和子(2016)『完全増補版 バイリンガル教育の方法』アルク 本田弘之他編著(2019)『改訂版 日本語教育学の歩き方』大阪大学出版会
授業計画/Class Plan	第1回 オリエンテーション 研究分野と学会 第2回 調査と研究方法の概論 第3回 受講生が選んだ論文の批判的考察(1) 第4回 受講生が選んだ論文の批判的考察(2) 第5回 受講生が選んだ論文の批判的考察(3) 第6回 受講生が選んだ論文の批判的考察(4) 第7回 受講生が選んだ論文の批判的考察(5) 第8回 ゲストスピーカー(調整中) 第9回 受講生が選んだ論文の批判的考察(6) 第10回 受講生が選んだ論文の批判的考察(7) 第11回 受講生が選んだ論文の批判的考察(8) 第12回 受講生が選んだ論文の批判的考察(9) 第13回 受講生が選んだ論文の批判的考察(10) 第14回 受講生が選んだ論文の批判的考察(11) 第15回 総括
授業外における学習/Independent Study Outside of Class	教材(佐藤 2019 ほか)を読んで、自分の考えを準備しておくこと。 CEFRについての議論については、学部の「日本語教育学講義Ⅲa」(月曜4限)も参照のこと。(聴講可)
教科書・教材/Textbooks	佐藤慎司編著(2019)『コミュニケーションとは何か—ポスト・コミュニカティブ・アプローチ』(リテラシーズ叢書)くろしお出版
参考文献/Reference	・『日本語学 2015.11臨時増刊号 特集 入門：第二言語習得研究』明治書院 ・大谷尚(2019)『質的研究の考え方 研究方法論からSCATによる分析まで』名古屋大学出版会 ・竹内理ほか著『外国語教育研究ハンドブック—研究手法のより良い理解のために』松柏社 ・本田弘之他編著(2019)『改訂版 日本語教育学の歩き方』大阪大学出版会 ・ライトバウン・スバダ(2014)『言語はどのように学ばれるか—外国語学習・教育に活かす第二言語習得論』岩波書店 [Lightbown & Spada. 2013. "How Languages are Learned", Oxford University Press] ・Wright, Boun & Garcia (Eds.) 2015. "The Handbook of Bilingual and Multilingual Education", Wiley Blackwell. その他、CEFRについての文献は授業で紹介する。
成績評価/Grading Policy	出席+発表+レポートにより総合的に評価する。
コメント/Other Remarks	コロナ対応として、オンラインでzoom授業を計画しています。履修するかどうかを迷っている人も、まず版大CLEの、この授業のところの説明用ファイルをアップしておくので、見てください。(履修登録をしないとCLEに入れないそうなので。後で履修取り消しも、期間内なら可能。)
特記事項/Special Note	コロナ対策としてzoom授業を計画していますが、事情があって参加できない場合は、個別に連絡してください。<jmajima@lang.osaka-u.ac.jp> もし何かのIT関連のトラブルで参加できないような場合は、その日該当する教科書の1章分のまとめと自分の考察を書いた小レポートの提出等で、柔軟に対応します。
オフィスアワー/Office Hour	火曜5限(HPから予約制) それ以外は、個別に応じます。 真嶋潤子のHP: <http://majimajunko.sakura.ne.jp/bukosite/home.html> 「在学生への情報」のページから予約可能。

授業担当教員	
教員氏名/Instructor Name	
データがありません	

学生への注意書き	